

笑顔で挨拶から

東高校入学式

金沢学院東高校の平成23年度入学式は4月7日、同校体育館で行われ新入生337人は新たな希望を胸に高校生活をスタートしました。



宣誓する松本侑里香さん

＝東高校体育館

木谷辰夫校長は式辞で「皆さんには可能性と持つて生まれた美しい資質がある。それを開花させ、さらに磨いてほしい。私たちは精一杯後押しします」と述べました。

飛田秀一理事長は「地域に貢献できる大人になる第一歩は、笑顔で挨拶すること。元氣よく挨拶を交わし、日々成長してほしい」と告辞を述べました。浅井英司後援会長の祝辞に引き続き、新入生代表の松本侑里香さん（進学特別コース・金沢市港中学出身）が「志を高く持ち、初心を忘れず頑張っていくます」と宣誓しました。なお、式に先立ち、東日本大震災の犠牲者に黙とうが捧げられました。

代表の橋本優貴さん



さらなる努力に期待して

14人に学長褒賞

金沢学院大学・短期大学の平成22年度学長褒賞の授与は4月21日、4号館講堂で行われ、槻木裕学長から代表の橋本優貴さん（柔道部・情ビ4年）に、表彰状と記念品が

渡されました。槻木学長は「いま、皆さんの輝かしい成果・成績に対して学長褒賞を授与しましたが、これからの成長と頑張りへの期待をも込めたものです」と

「土曜大学院」「ふるさと学」

3期目スタート

スポーツマン憲章制定



今年度最初の講座風景

＝サテライト教室

学校法人金沢学院と北國新聞文化センターの提携講座「土曜大学院」「ふるさと学」は4月16日、金沢市南町の南町中央ビル6階の本学サテライト教室を会場に開講されました。

初日は、金沢学院大学大学院研究科長の柳澤良一教授が平安中期の辞書「倭名類聚抄」の編者源順について講義し、文学部歴史文化学科の小嶋芳孝教授が羽咋市の寺家遺跡の発掘調査の経緯や成果を説明しました。

今年度で3期目となる『ふるさと学』は、受講申し込みが50人を超え、過去最多の受講者数になりました。講座は10回にわたり、各2講座計20人の講師陣が、文学や歴史、芸術や文化など、それぞれの専門分野からの私たちの「ふるさと」に関する興味深い講義を行っていきます。

来年3月まで、8月と1月を除く毎月第3土曜日に開講されます。

- 1、人間社会の基本である挨拶および礼節を重んじること
- 2、社会ルールを尊重し、自律した行動をとること
- 3、人間力を育み、積極的に人格を磨くことに努めること
- 4、スポーツマンである前に、本学の学生であることを十分に自覚し、すべての学生の範となるように努めること
- 5、練習とともに授業を重んじ、学業とスポーツの両立をめざすこと
- 6、「フェアプレー」と「スポーツマンシップ」の発揮を、スポーツ活動のすべての基本とすること
- 7、スポーツ振興と地域スポーツ発展の担い手となるように努めること